

ヨード造影剤を用いる検査に関する説明

今回実施する検査は“造影剤”という薬剤の注射をして行います。造影剤を用いることで、より小さな病変が見つかったり、病変の性状が詳しくわかり、診断に役立ち、治療もしやすくなります。これは、安全な薬剤ですが、他の薬剤と同様に副作用が起こることもあります。副作用の種類は次のようなものです。

- 1) 軽い副作用：吐き気・動悸・頭痛・かゆみ・発疹などで、基本的に治療を要しません。
(副作用の起こる確率：5%以下)
- 2) 重い副作用：呼吸困難、意識障害、血圧低下などです。このような副作用は、通常は治療が必要で、後遺症がのこる可能性があります。そのため、入院や手術が必要なこともあります。(副作用の起こる確率：0.1%)
稀に死亡の報告があります。(副作用の起こる確率0.0005%～0.001%)

また、造影剤を注射する時には、

- 1) 体が熱くなることがありますが、直接の刺激であり心配ありません。
- 2) 勢いよく造影剤を注入するために、血管外に造影剤が洩れることがあります。
この場合には、注射した部位が腫れて、痛みを伴うこともありますが基本的には時間がたてば、吸収されてしまうので心配ありません。洩れた量が非常に多い場合には、別の処置が必要となることもありますが、非常に稀です。

検査後の注意

造影剤は、すべて尿として排泄されますので、検査後はお水やお茶など水分を多めにとりください。食事は普通にとられてもかまいません。なお、水分摂取を制限されている方は医師にお申し出下さい。

体質により下記のような副作用が現れることがあります。副作用が出るとすれば検査後10分以内がほとんどです。ごく稀に数時間から数日後(多くは二日以内)に副作用が現れることがあります。

[検査後の副作用]

発疹、かゆみ、むくみ、吐き気、のどのイガイガ感、咳、冷や汗、動悸、脱力感、めまい
このような症状の殆どは軽度で自然に消失しますが、症状が続く場合は下記まで連絡して、その指示に従って下さい。受診をしてもらう場合があります。

宇治川病院 0774-22-1335

当院では万一の副作用に対して万全の体制を整えて、検査を行っています。
もし変だと感じたら、ためらわず、すぐにおっしゃって下さい。